

糖化※1研究のポーラ B.Aから。
糖化したデスモソーム※2を含む古い角層を洗い流し、除去。
洗うたび、うるおいのある透き通るような全域※3ハリ肌を目指す。

『B.A クレンジングクリーム・ウォッシュ』 2026年3月1日誕生

株式会社 ポーラ（本社：東京都品川区、代表取締役社長：小林 琢磨）は、ポーラ最高峰ブランド「B.A」より、2026年3月1日に『B.A クレンジングクリーム（130g ¥12,100 <税抜 ¥11,000>）』と『B.A ウォッシュ ¥12,100 <税抜 ¥11,000>）』の2品を発売いたします。

B.Aは、1985年に誕生。“人の可能性は広がる”というブランドポリシーを掲げています。
2025年9月には、“時間は、存在しない”。“美しさは、更新できる”。※4というメッセージとともに、再生するような全域ハリ肌を目指すアイテムとして、第7世代となるB.A ローション・ミルク・クリームの3品が誕生しました。
今回、新たに登場するB.A クレンジングクリーム・ウォッシュで着目したのは、ハリ感を妨げる、「デスモソーム」の糖化です。
ハリ肌を見つめて40年。糖化の肌への影響を研究し続けて26年。
全域ハリを目指すB.Aのベーシックスキンケアが、完成します。

◆新『B.A クレンジングクリーム・ウォッシュ』の特長

- 【目指す肌】糖化したデスモソームを含む古い角層を洗い流し、再生するような全域ハリを目指します。
- 【成分】 2品共通の新たなポーラオリジナル複合美容成分※5「EGクリアエキスEX※6」を配合。
この他、ポーラオリジナル美容成分「SCリキッド」を配合。
- 【処方】 業界初・TDC※7独自技術を採用したオリジナル処方。クレンジングクリームでは、余分な皮脂汚れを溶解。
ウォッシュでは、皮脂を吸着。糖化したデスモソームを含む古い角層を洗い流し、全域ハリ肌を目指します。
- 【感性品質】 クレンジングクリームは、コクのあるクリームからオイルが溶け出すような、なめらかな感触。
ウォッシュは、泡立ちと泡もちの良さにこだわった、濃密できめ細やかな泡質。
感性科学発想で、感性を研ぎ澄ませるような「心地よさ」を追求した香り。

全国のポーラ ビューティーディレクター、コスメ&エステショップ「ポーラ ザ ビューティー」約430店舗、旗艦店「ポーラ ギンザ」、全国百貨店等ポーラコーナー91店舗を含む約2,500店、日本国内空港免税店コーナー11店舗（2024年12月末時点）、ポーラ公式オンラインストア（<https://www.pola.co.jp/ec/>）にてお取り扱いします。
海外では、中国大陸・香港・台湾・マカオ・タイランド・シンガポール・韓国・マレーシア・インドネシアの9の国と地域、ベトナムの免税店にて順次発売予定です。



2026年3月1日発売

B.A クレンジングクリーム

130g ¥12,100（税抜 ¥11,000）

販売名：ポーラ B.A クレンジングクリーム 7

B.A ウォッシュ

100g ¥12,100（税抜 ¥11,000）

販売名：ポーラ B.A ウォッシュ 7 〈洗顔クリーム〉

※1：角層の糖化 ※2：角層のコルネオデスモソーム ※3：顔全体に使用すること
※4：時間や年齢にとらわれず、人の可能性を広げたいというブランドの想い ※5：保湿成分
※6：レンゲソウエキス、ワイルドタイムエキスの複合保湿成分
※7：テクニカルディベロップメントセンター（ポーラ化成工業 研究生産拠点）



ハリ肌研究40年、糖化^{※1}研究26年。
洗顔からはじめる、全域^{※2}ハリケアで、
『B.A』は新たなステージへ。
B.A 第7世代のベーシックスキンケア、完成。

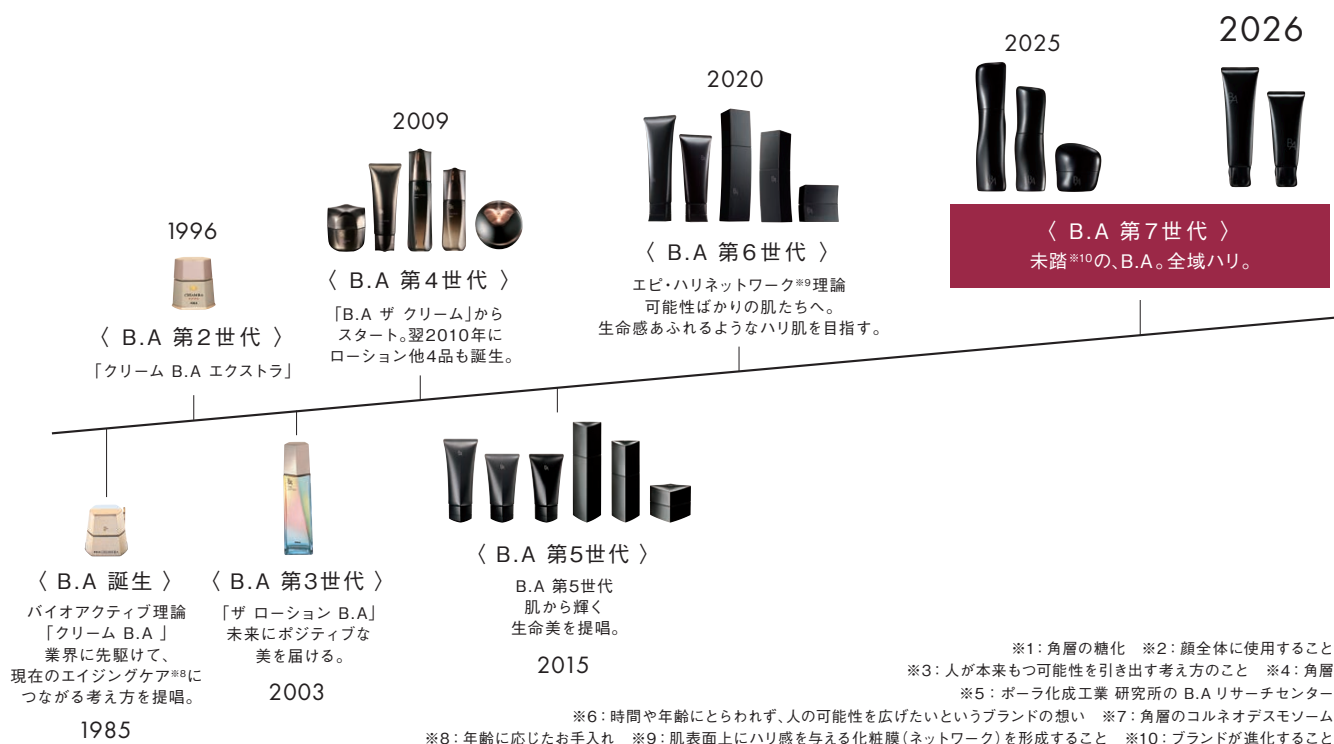
B.Aは、1985年に誕生。

“人の可能性は広がる”というブランドポリシーを掲げ、
いつまでも新たな美しさの可能性を広げ続ける、「エイジレス」な生き方を応援してきました。
誕生時には「バイオアクティブ理論^{※3}」を提唱し、1999年に「肌^{※4}の糖化」についての研究をスタート。

2015年にはB.Aリサーチセンター^{※5}を創設し、生命美を追究。

そして2025年、B.Aが提唱したのは、自分史上最高を目指す生き方。
“時間は、存在しない”。“美しさは、更新できる”。^{※6}というメッセージとともに、
再生するような全域ハリ肌を目指すアイテムとして、
第7世代となるB.A ローション・ミルク・クリームの3品が9月に誕生しました。

今回、新たに登場するB.A クレンジングクリーム・ウォッシュで着目したのは、
ハリ感を妨げる、「デスモソーム^{※7}」の糖化です。
ハリ肌を見つめて40年。糖化の肌への影響を研究し続けて26年。
全域ハリを目指すB.Aのベーシックスキンケアが、完成します。



POLA



糖化^{※1}研究のポーラ B.Aから。

糖化したデスモソーム^{※2}を含む古い角層を洗い流し、除去。
洗うたび、うるおいのある透き通るような全域^{※3}ハリ肌を目指す。
『B.A クレンジングクリーム・ウォッシュ』2026年3月1日誕生



2026年3月1日発売



ほぐされたような柔ハリ。
柔らかく透き通るような^{※4}ハリを目指す
濃密^{※5}トリートメントクレンジング

B.A クレンジングクリーム

販売名：ポーラ B.A クレンジングクリーム 7

130g ¥12,100 (税抜 ¥11,000)

- TDC^{※6}独自技術を採用した「デュアルメルティオイル処方」。
- メイク汚れ・皮脂汚れをゆるめるように溶かし込み、糖化したデスモソームを含む古い角層を除去。
- すっきりとメイクオフをし、水分で満たされるようなうるおいを与えるエイジングケア^{※7}クレンジング。
- リッチでコクのあるクリームから、オイルが溶け出すような、なめらかな感触。

・アレルギーテスト済み（全ての方にアレルギーが起きないというわけではありません）

- 使用量の目安：直径1.7cm程度の円
- 使用期間：約100日間

光を放つような透明感^{※8}のあるハリ。
みがきあげたかのようなハリを目指す
美容オイル泡^{※9}ウォッシュ

B.A ウォッシュ

販売名：ポーラ B.A ウォッシュ 7 〈洗顔クリーム〉

100g ¥12,100 (税抜 ¥11,000)

- TDC独自技術を採用した「モイスチャラッピング処方」。
皮脂汚れを吸着し、糖化したデスモソームを含む古い角層を除去。うるおいを抱え込む。
- 濃密できめ細やかな泡で、トーンアップしたかのようなしっとり透明感のあるハリ肌に洗い上げるエイジングケアウォッシュ。
- 美容成分^{※10}配合の濃密弾力泡のエイジングケアウォッシュ。
洗いながら肌を満たすような、なめらかな感触。

・アレルギーテスト済み（全ての方にアレルギーが起きないというわけではありません）

- 使用量の目安：朝：0.5cm、夜：1cm
- 使用期間：約100日間

※1：角層の糖化 ※2：角層のコルネオデスモソーム ※3：顔全体に使用すること ※4・8：汚れや古い角層を洗い流すことによる ※5：感触のこと
※6：テクニカルディベロップメントセンター（ポーラ化成工業 研究生産拠点） ※7：年齢に応じたハリのお手入れ ※9：美容のためのオイルリッチな泡 ※10：保湿成分

POLA



[製品特長]

新発見

ヒトの角層で、デスモソーム※¹は糖化していた

B.A.リサーチセンターは今回、角層細胞同士をつなぐタンパク質複合体「デスモソーム」が、ヒトの角層で糖化していたことを発見しました。

ヒトの角層を採取し、デスモソームと糖化タンパク質を蛍光染色で可視化したところ、デスモソーム(赤色)と、糖化タンパク質(緑色)が重なる黄色の領域が確認されました。

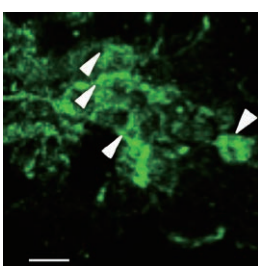
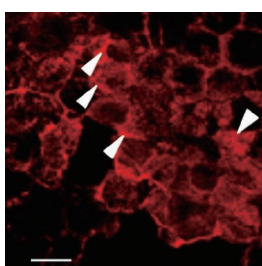
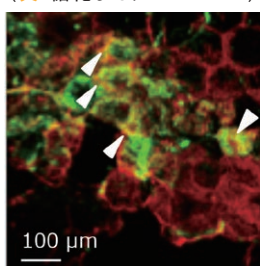
この重なりは、デスモソームが糖化していることを示すものです。

B.A. クレンジングクリーム・ウォッシュは、糖化したデスモソームを含む古い角層を洗い流し、やわらかなハリ感のある肌を目指します。

赤と緑の重ね合わせ
(黄 糖化したデスモソーム)

赤 デスモソーム

緑 糖化タンパク質



採取した角層細胞を対象に、免疫染色法でデスモソームおよび糖化タンパク質の局在を確認※²。

赤：デスモソーム

緑：糖化タンパク質

黄：赤と緑が同じ場所に検出され、糖化デスモソームが存在すると考えられる部位

▷：糖化デスモソームが特に多い部位

※¹：角層のコルネオデスモソーム ※²：デスモソームは、デスモソームの主要構成因子「デスモグレイシン1」について検証 (B.A.リサーチセンター調べ)

[糖化について]

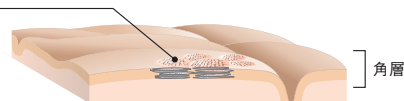
糖化とは

糖とタンパク質が結びつき、最終糖化産物「AGEs」が生成されること。AGEsが増えると褐色化して硬くなり、一度生成されると、自然には分解・除去できずに蓄積してしまいます。

AGEs: Advanced (進んだ) Glycation (糖化の) End (最終) Products (産生物)の略。

糖化が原因で起こりうる角層の現象

ごわつき: 角層のケラチンタンパク質と糖が結びついてAGEsが生成されると、角層の硬さやごわつきの一因になります。



(イラストはイメージです)

糖化しやすい要因

糖化を引き起こす要因は、生活習慣や環境など様々考えられます。

例) ● 血糖値が上がりやすい食生活

(白米や白砂糖など精製度の高いものをよく食べる／お菓子をよく食べる／食事のペースが早いなど)

● 運動不足 ● 加齢 ● ホルモン変化 ● ストレス ● 紫外線を浴びる ● 喫煙

食生活の見直しや運動など、日常生活に取り入れられる生活習慣の改善をすることが大切です。



[製品特長]

目指す肌

糖化したデスモソーム^{※1}を含む古い角層を洗い流し、全域^{※2}ハリで満たされるような肌を

目指す肌

糖化したデスモソームを含む古い角層を洗い流し、再生するような全域ハリを目指します。

2品共通配合成分

NEW

ポーラオリジナル複合美容成分^{※3}「EGクリアエクスEX」を配合。

レンゲソウエキス、ワイルドタイムエキスの複合保湿成分

◆ ポーラオリジナル美容成分「SCリキッド」を配合。



(画像はイメージです)

処方

業界初・TDC^{※4}独自技術を採用したオリジナル処方で、
糖化したデスモソームを含む古い角層を洗い流し、全域ハリを目指す

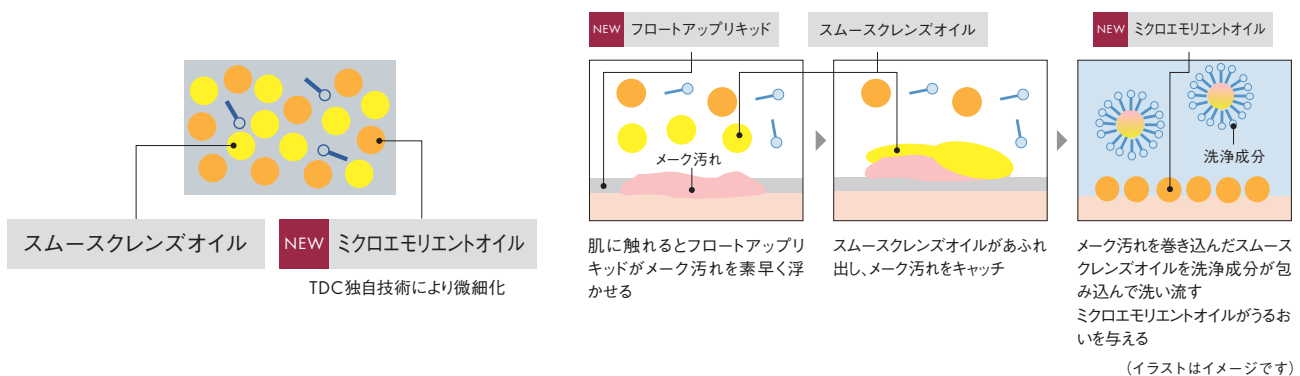
クレンジングクリームは、余分な皮脂汚れを溶解。ウォッシュでは皮脂を吸着。糖化したデスモソームを含む古い角層を洗い流し、全域ハリ肌を目指します。

B.A クレンジングクリーム

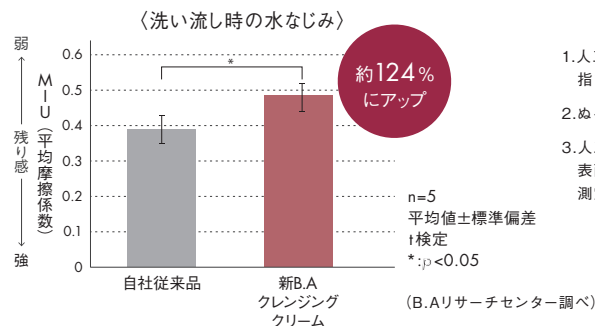
独自技術

「デュアルメルティオイル処方」

TDCの独自乳化技術により、水と油、乳化剤をバランスよく配合することで、ポーラの洗顔アイテムで初めて、配合した洗浄成分と保湿成分のオイルが混ざり合うことなく別々に存在させることが可能に。2種のオイルがそれぞれ溶け出すようにほぐれることで、クレンジング機能とうるおいのある柔らかな洗い上がりを両立しました。メイク汚れ・皮脂汚れをゆるめるように溶かし込み、糖化したデスモソームを含む古い角層も除去。とろけ感のある保湿オイルでうるおいを与えます。



自社従来品と比較して、洗い流し時の水なじみ^{※5}がアップ。メイクも古い角層もすっきりとオフします。



- 1.人工皮革3×30cm²上にサンプル0.3gを塗布し、指でなじませた。
- 2.ぬるま湯で洗浄した後、軽くティッシュオフした。
- 3.人工皮革上に水滴がないことを確認し、表面の平均摩擦係数 (MIU) を摩擦感テスターで測定。

※1: 角層のコルネオデスモソーム ※2: 顔全体に使用すること ※3: 保湿成分 ※4: テクニカルディベロップメントセンター (ポーラ化成工業 研究生産拠点)

※5: 洗浄後の剤の残り感の少なさ

POLA

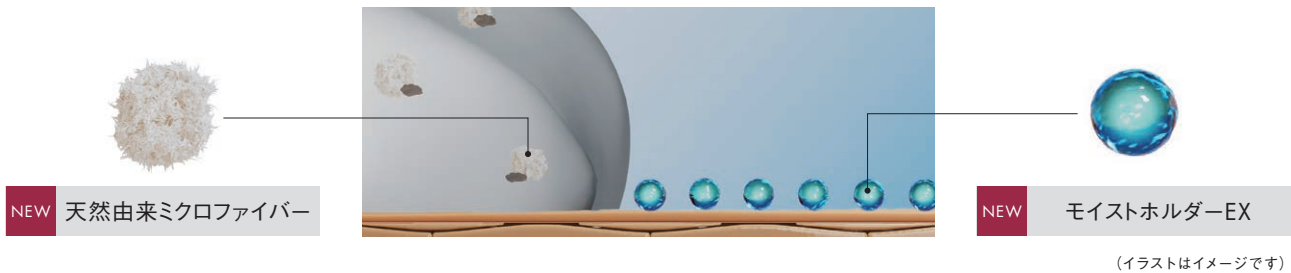


[製品特長]

B.A ウォッシュ

独自技術 「モイスターラッピング処方」

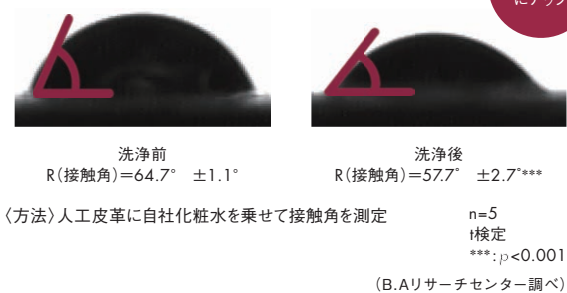
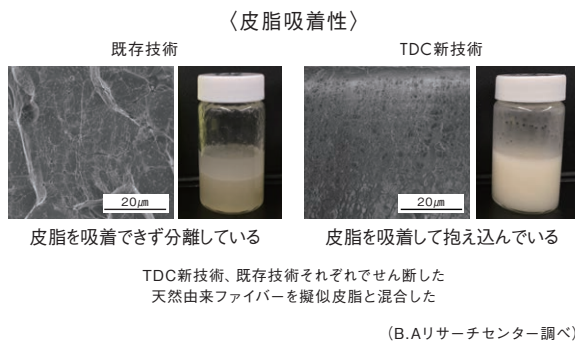
TDC※¹新開発の天然由来マイクロファイバーで皮脂汚れを吸着。
糖化したデスモソーム※²を含む古い角層を洗い流します。
さらに、自社従来品比約10倍の保湿オイルを配合したオイルエマルジョン「モイストホルダー-EX」を配合。
うるおいを抱え込み、しっとりとした透明感のある洗い上がりへ。



TDC独自技術で微細化した天然由来マイクロファイバーで
皮脂を吸着。

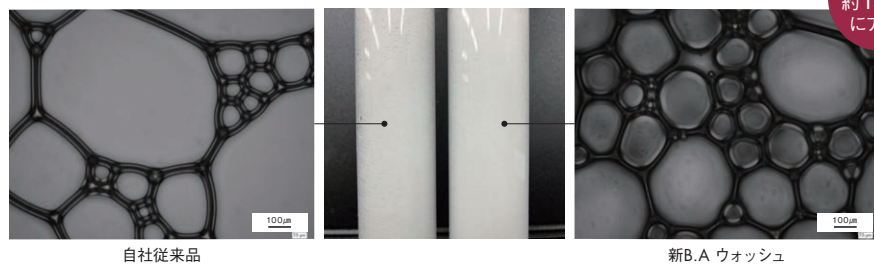
次に使うローションの肌なじみが
約112%にアップ※

※未使用時との比較



「さらに濃密できめ細やかな泡に進化」

泡立ちと泡持ちの良さにこだわり、濃密できめ細やかな泡を実現しました。



試験条件: 自社従来品、およびポーラ B.A ウォッシュ 7の1%水溶液を20mL充填し、30回/10秒振とうした後、泡の様子を写真撮影および顕微鏡観察した
(B.Aリサーチセンター調べ)

※1: テクニカルディベロップメントセンター (ポーラ化成工業 研究生産拠点) ※2: 角層のコルネオデスモソーム

POLA



[製品特長]

感性品質

感触

B.A クレンジングクリーム

リッチでコクのあるクリームから、オイルが溶け出すような、なめらかな感触。



B.A ウォッシュ

泡立ちと泡もちの良さにこだわった、濃密できめ細やかな泡質。



香り

感性科学発想。

1品1品が折り重なるように香る、フローラルウッディアコードの香り。

アップサイクル原料であるオークウッドを使用した香りをベースに、

アイテムを重ねるごとに目に浮かぶ景色が移りゆくような、ストーリー性のある香り設計にこだわりました。クレンジングクリームは霧、ウォッシュは澄んだ空気をイメージし、霧に包まれたような静寂から、少しずつ空が澄みわたり視界が開かれるような香りの移ろいを表現しています。

〈アップサイクル香料原料「オークウッド」〉

フランス産オークからワイン樽をつくる過程で生まれる副産物をアップサイクルした原料をベース香料に使用。ウッディでスモーキーなオークが、香りに奥行きとふくよかさを与える。



クレンジングクリーム

透明感のあるグリーンを際立たせた、みずみずしい華やかさを感じる香り

グリーン ベルガモット
ミューゲ ライラック
ローズマリー

ウォッシュ

清らかなフレッシュフローラルを際立たせた、静寂を感じるような香り

グリーン ベルガモット
セラニウム ローズ

ローション

澄み渡るように満たされ落ち着きを感じるような香り
(ベース香調をもっともクリアに感じられる香り)

ミルク

やわらかなウッディを際立たせたあたたかくやさしい香り

ミューゲ ドライウッディ
セダー ソフトムスク

クリーム

深みのあるムスクを際立たせた、充実感のある香り

ラバンティン
アンバー セダー ソフトムスク

デザイン

コンセプト:「躍動の予兆」

あらゆる角度で表情を変え、印象を変容させる造形。

正解を求めるのではなく、

視点・見方・気分によって感じ方が変わり、

新しい発見をしてほしいという思いから、

自由に变化していく、躍動への予感を表現したデザイン。

カラーリング: すべての色を内包する (全ての色を混ぜると黒になる)

ことから、多様性によって広がる無限の可能性を込めた、

黒のカラー「インクルージョンブラック」。





[製品特長]

アートワーク

B.Aの生命美を長年にわたり表現いただいている、世界的フラワーアーティストの東 信氏と、新しいブランドアートに挑戦。「植物」「自然」「人」その様々な生命の営み、時間を、多層的に重ね合わせ、時間という概念からも解放された、神秘的で可能性に満ちた世界を想像させるアートワークです。

B.Aのアートワークコンセプト： 「Timeless Possibility (時空からの解放)」

生命の営みを多層的に
「重ね合わせ」て出来上がっている。
物事の本質や生き方、
そして人の中には何層もの、何面もの顔がある。
1つのビジュアルの中で多層的に魅せることで、
その複雑さや多面性を提示し、見なれた様々な現象の融合が
可能性をつくり、世界を変え新しく広がっていくことを表現。



クレンジングクリーム



ウォッシュ

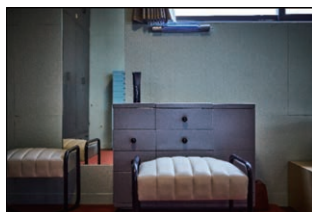
植物



自然



人



東 信 (あずま まこと)

東 信、花樹研究所『AMKK』主宰。東京・南青山に、オートクチュールの花屋を構える。また2005年からニューヨーク、パリ、ドイツなど国内外で精力的な活動を展開。花、植物のみが有する神秘的な形を美的なレベルに変換し表現することで、植物の価値を高める活動を続けている。

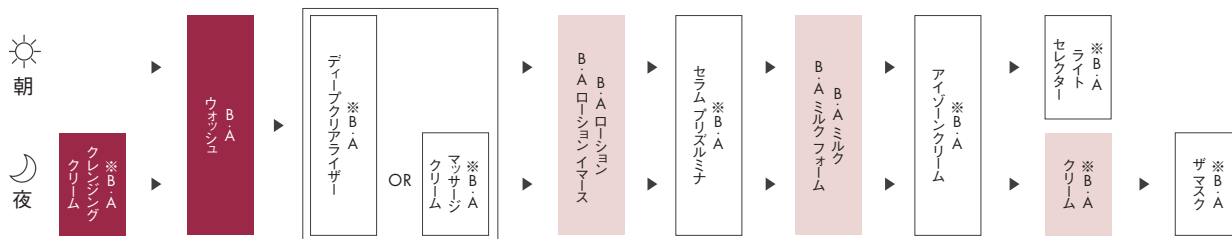
POLA



[製品特長]

使用ステップ

ご使用ステップ



※肌の悩み・状態に合わせてお使いください。クレンジングクリームは、メイク・UVカット品使用時は必ずお使いください。

社会・地球環境への取り組み

商品外箱



生物由来（バイオマス）のインクを採用
生態系の保護に繋げる

森林認証紙を採用

適切な森林管理のもとに作られた木材を使用

容器



植物由来PEを採用
化石資源の保護や二酸化炭素の削減に貢献
※PE：ポリエチレン

香料



アップサイクル香料原料の採用
フランス産オークからワイン樽をつくる過程で生まれる副産物をアップサイクルした原料をベース香料に使用

パンフレット



WEBパンフレットを採用
ペーパーレスへの取り組みとして、箱に記載された QR コードから使用方法、全成分表示が閲覧可能
※5言語対応（日本語・英語・繁体字・簡体字・タイ語）

主な配合成分

配合目的	成分名	全成分表示名	クレンジングクリーム	ウォッシュ
保湿成分	NEW EGクリアエクスEX※	レンゲソウエクス、ワイルドタイムエクス	●	●
	SCリキッド※	ビワ葉エクス	●	●
	NEW ミクロエモリエントオイル※	ラウロイルグルタミン酸ジ(フィトステリル／オクチルドデシル)	●	
	NEW モイストホルダーEX※	マカデミアナッツ油、(C12-20) アルキルグルコシド		●
洗浄成分	スームスクレンゾオイル※	ジエチルヘキサン酸グリコール、水添ポリイソブテン、インドデカン	●	
	NEW 天然由来ミクロファイバー※	スイゼンジノリ多糖体		●
	NEW フロートアププリキッド※	イソペンチルジオール、ジグリセリン	●	

※は、ポーラオリジナル複合成分またはポーラオリジナル成分。
◆アレルギーテスト済み（全ての方にアレルギーが起きないというわけではありません）

B.Aでは、40年間に渡り、ハリ研究を続けてきました。

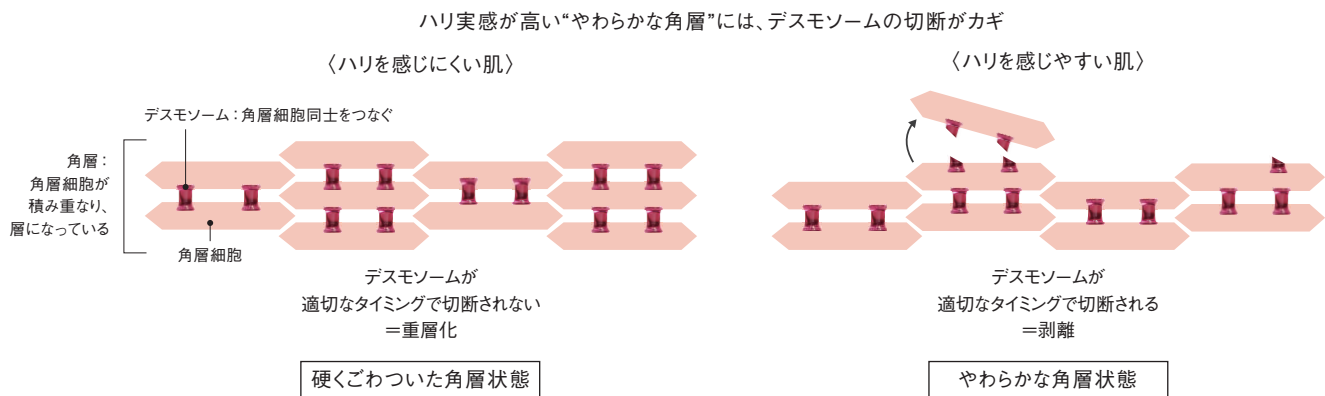
細胞のみならず肌全体へと研究対象を広げる中で、研究を続けてきた「糖化」にあらためて着目。これまでの糖化研究は、主に真皮のコラーゲン糖化や角層細胞内の糖化に焦点を当ててきましたが、今回さらに領域を広げ、角層細胞同士をつなぎ合わせる「デスモソーム※1」の糖化にたどり着きました。

ハリ実感の高い“やわらかな角層”に導く要「デスモソーム」

角層は角層細胞が積み重なってできており、その細胞同士をつなぐタンパク質複合体を「デスモソーム」と呼びます。

角層の成熟過程では、デスモソームが段階的に切断されることで表層の角層細胞が自然に剥がれ、ターンオーバーが保たれます。しかし、切断がうまく進まないで角層が剥がれず積み重なり、ごわつきやハリを感じにくい状態につながります。

デスモソームが適切に切断されることで、やわらかく、ハリ実感の高い肌へと導かれます。



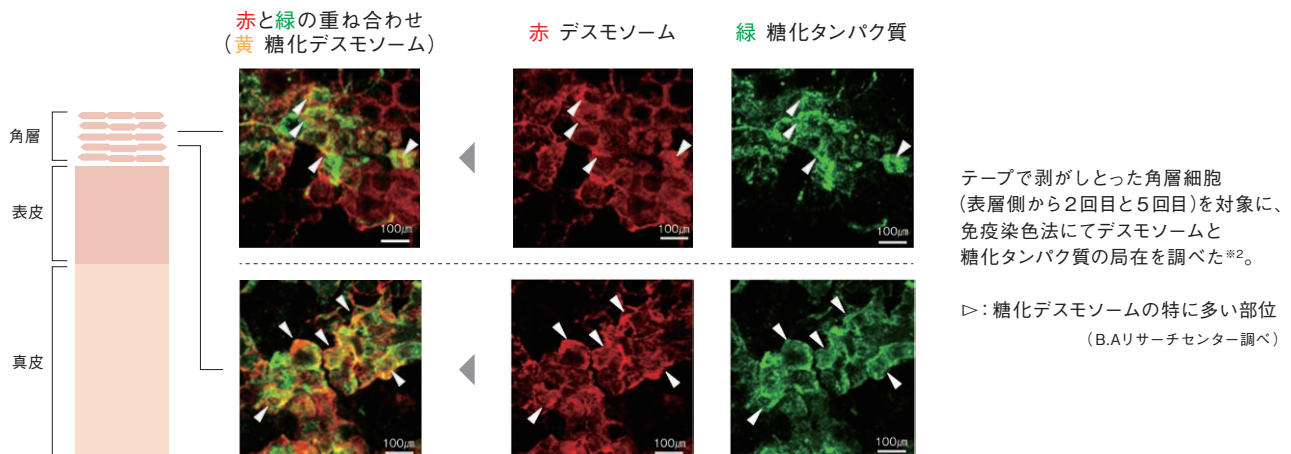
新発見

ヒトの角層全体で、デスモソームが糖化していた

B.Aリサーチセンターは、ヒトの角層全体でデスモソームが糖化していることを発見しました。

ヒトの角層を採取し、デスモソームと糖化タンパク質を蛍光染色で可視化したところ、デスモソーム（赤色）と、糖化タンパク質（緑色）が重なる黄色の領域が確認されました。この重なりは、デスモソームが糖化していることを示すものです。

黄色のシグナルが角層の表層から深層まで広く認められ、ヒト角層全体でデスモソームが糖化していることが確認されました。



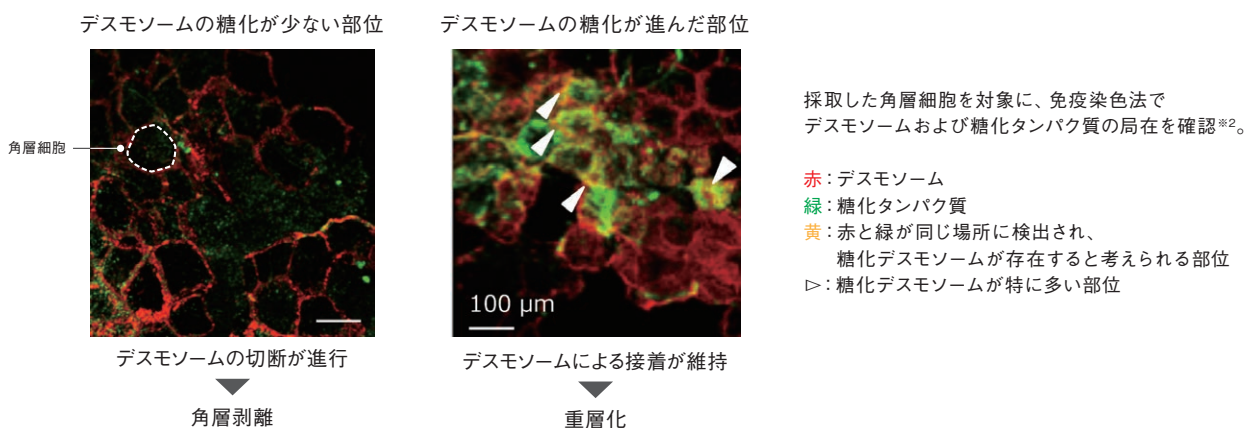
※1：角層のコルネオデスモソーム ※2：デスモソームは、デスモソームの主要構成因子「デスモグレイニン1」について検証
(イラストは全てイメージです)

デスモソーム※1糖化と角層剥離

さらに、デスモソームの糖化の度合いとその分布を比較したところ、デスモソームの糖化が少ない角層ではデスモソームが細胞のふちにのみ存在し、切断が適切に進んでいる様子が確認されました。

一方、デスモソームの糖化が進んだ角層では、デスモソームが細胞の中心付近まで残り、細胞同士のつながりが保たれたままであると考えられました。

このような違いから、糖化したデスモソームは切断されにくく、最表層の角層が自然にはがれ落ちにくい状態をまねく可能性が示唆されます。



デスモソームは、切断酵素が働くタイミングで糖化されていると切断されにくくなるため、糖化されないことが重要であると考えられます。



※1：角層のコルネオデスモソーム ※2：デスモソームは、デスモソームの主要構成因子「デスモグレイン1」について検証
(B.Aリサーチセンター調べ)
(イラストは全てイメージです)